



年間第 24 主日 (マルコ 8:27-35)

人はイエスを正しく言い当てることができない

今週は教区が設定した「公式ミサ中止期間」を終えているかも知れません。ただ、中田神父が 11 日（土）に 2 回目のワクチン接種を受け、寝込んでいる可能性があるため、田平小教区は本日まで公式ミサの中止期間になっています。ちなみにこの説教は、8 月 20 日に作られています。

今週の福音朗読箇所は、「ペトロ、信仰を言い表す」という箇所です。これまで中田神父は、「ペトロは立派な信仰を言い表してすごいなあ」と考えて読み始めていましたが、あらためて読み返すとマルコ福音記者はそう考えて書いたわけではなさそうだ、と考え直しました。

冷静に考えると、人間に過ぎない私たちが、イエス様が誰であるかを見事に言い当てる、ということは考えられないからです。私たちは幼なじみや長い付き合いのある友達のことでも、「その人のことをすべて言い当てる」ということはできないのです。どんなに付き合いが長くても、知らないことがあり、分かってもらえないところがあるのです。

神の子イエス・キリストについてはますますです。3 年間共に寝起きして生活してきたと言っても、それですべてを言い当てることは決してできないはずで、それなのに中田神父は「ペトロの信仰は立派だなあ」と感心して、人間の不完全さを忘れていたのです。もしかしたら、中田神父も自分が不完全でイエス様のことを全て言い当てることはできないことを、忘れていたのかも知れません。

もしそうだとしたら、つまり「どんな人も、イエス様のことを全て言い当てることはできない」としたら、イエス様が言葉を付け加えた時に、どんな態度を取れば良いのでしょうか。もしその言葉が「まさかそんなことは起こらないでしょう」という内容だったら、どんな態度を取れば良いのでしょうか。

「それからイエスは、人の子は必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちから排斥されて殺され、三日の後に復活することになっている、と弟子たちに教え始められた。」(8・31) 思いもかけないことをイエス様は言いました。「イエス様どうしたのですか。頭がおかしくなったのですか」と、頭ごなしに言いますか？

ペトロはイエス様を遮るような言葉を言いました。イエス様が誰か、すべてを言い当てることができない者なのに、イエス様が付け加えたこれから起こる出来事を、頭から否定したのです。本当は、すべてを理解しているイエス様に信頼して、後をついていく必要があったのでした。

私たちの誰も、イエス様が誰であるかを全て言い当てることはできません。だから、自分の身の回りの出来事は完全に理解できて「私がいつも正しい」と言うのはやめましょう。誰かに言い返そうとする時、特にそれが責任ある人に言い返そうとする時、イエス様に言い返しているのではないかと考えてみましょう。考え直すことが、あなたを成長させる時もあるはずで、ペトロは叱られて、イエスを遮る態度をしなくなりました。ペトロは信仰を言い表す体験の中で、大きく成長したのです。